

1

- 【正解】 ① イ ② (例) 満18歳以上の男女
 ③ (A) 二院制 (両院制)
 (B) (例) 参議院より任期が短く、解散もあるため、国民の意見をより反映する
 ④ ア
 ⑤ (1) ウ
 (2) (例) 地方公共団体間の財政格差をおさえるために、国から支給される補助金。
 ⑥ (1) 公共の福祉 (2) イ ⑦ (例) 内閣を組織して政権を担う政党。

- 【解説】
 ① 普通選挙とは、一定の年齢に達したすべての国民が選挙権を得るという原則。代表を直接選ぶのは直接選挙の原則である。
 ② 選挙権を得る年齢は、公職選挙法の改正により、満20歳以上から満18歳以上に引き下げられ、2016年6月に施行された。
 ③ (A) 二院制には、国民の広い意見を政治に反映するとともに、慎重に審議を進め、互いに行き過ぎを防ぐことが期待されている。
 (B) 参議院の任期は6年で解散がないのに対し、衆議院の任期は4年で解散がある。
 ④ 議員一人当たりの有権者数が多いほど、一票の価値は低くなる。東京都第13区と鳥取県第1区では、有権者数が約2倍ちがうことから、格差も約2倍となる。なお、小選挙区制は選挙区から一人を選ぶしくみであり、資料1の有権者数はそのまま議員一人当たりの有権者数である。
 ⑤ (1) 地方議会の議員の解職を求める場合、有権者の3分の1以上の署名を集めて、選挙管理委員会に請求する。
 (2) 同じように、国からの補助金である国庫支出金は使い道を指定された補助金である。
 ⑥ (2) アについて、正社員とは、期間の定めがない労働契約を結んでいる労働者である。ウの労働時間の基準を定めるのは労働基準法。エの労働三権は団結権、団体交渉権、団体行動権のことで、休日とは関係ない。なお、労働基準法では週に一日以上の休日を最低基準としている。
 ⑦ 内閣を組織して政権を担う政党が与党、その他の政党が野党である。

2

- 【正解】 ① ア ② 石油〔原油〕 ③ エ ④ 季節風〔モンスーン〕
 ⑤ (家畜) 豚、(理由) (例) C国・D国ともイスラム教を信仰する人が最も多いので、イスラム教の信者が口にしない豚である。
 ⑥ ウ

- 【解説】
 ① Xの緯線はマレー半島の南を通ることから、0度の緯線である赤道と判断できる。赤道はアフリカ大陸の中央部や、アマゾン川の河口付近を通る。アマゾン川の河口はアのブラジルにある。
 ② ●の集まるペルシャ(ペルシア)湾沿岸は石油の産出がさかんであることから、石油と判断する。
 ③ ASEANは東南アジア諸国連合の略称であり、加盟するのは東南アジアの10か国である。ア～エの国のうち、東南アジアに属するのはエのマレーシアである。
 ④ 夏と冬で吹く向きが変わる季節風により、インド洋から湿った風が吹きこむと雨季に、大陸からかわいた風が吹きこむと乾季になる。
 ⑤ C国・D国は、イスラム教を信仰する人が多い。イスラム教では豚を不浄なものとして口にしないことから需要が低く、飼育頭数も少なくなる。
 ⑥ アについて、出生率が最も高いD国は、人口では4か国中2番目に多く、65歳以上の割合は最も低い。イについて、死亡率が最も高いのはB国。65歳以上の人口が最も多いのは、A国である。エについて、一人当たりのGDPは、A国が約3753ドル、B国が約6539ドル、C国が約3708ドル、D国が約1944ドルで、一人当たりGDPは、B国が最も高く、次にA国、C国、D国の順である。

3

- 【正解】 ① 紫式部 ② 寝殿造
 ③ エ ④ ア ⑤ 化政(文化) ⑥ イ

- 【解説】
 ① 「源氏物語」の作者は紫式部、「枕草子」の作者は清少納言である。
 ② 当時の貴族は、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情にあった文化を生み出していた。これを国風文化という。
 ③ 源平の戦い(源平の争乱)は1180年に始まり、1185年、壇ノ浦(山口県)で源氏が平氏を滅ぼしたことで終わった。アは函館、イは平泉、ウは京都である。
 ④ アは1274年と1281年、イは1297年、ウは1221年、エは1232年のできごとである。
 ⑤ 江戸時代には町人の文化が栄えた。17世紀後半から18世紀はじめ頃には、上方の町人を中心とした元禄文化が栄え、浮世草子を著した井原西鶴や、人形浄瑠璃の脚本を書いた近松門左衛門らが活躍した。19世紀前半には江戸の町人を中心とした化政文化が栄え、「東海道中膝栗毛」を著した十返舎一九や、浮世絵をえがいた葛飾北斎や歌川(安藤)広重らが活躍した。
 ⑥ 大阪には全国から年貢米や特産物が集まり、蔵屋敷で売買・保管された。アは京都、ウは長崎、エは江戸の様子。

4

- 【正解】 ① (1) リアス(海岸) (2) 環太平洋(造山帯) (3) (都市名) 仙台(市)、(記号) エ
 ② (青森県) ウ、(福島県) ア
 ③ (例) やませとよばれる冷たく湿った風により冷害がおこった

- 【解説】
 ① (1) Xはリアス海岸である三陸海岸の南部で、わかめやカキの養殖がさかんである。リアス海岸は若狭湾沿岸や志摩半島にもみられる。
 (2) 世界には太平洋を囲むように連なる環太平洋造山帯と、ユーラシア大陸の南部を東西に走るアルプス・ヒマラヤ造山帯がある。
 (3) 東北地方の地方中枢都市は宮城県の県庁所在地である仙台市。アは青森市、イは盛岡市、ウは山形市である。
 ② 果実の産出額が最も多いウは、りんごの生産量が日本一である青森県。次に果実の産出額が多く、米の産出額も多いイはおとう(さくらんぼ)の生産量が日本一で、庄内平野で稲作もさかんな山形県。米の産出額が最も多いエは秋田平野で稲作がさかんで、新潟県・北海道に次いで米の収穫量が多い秋田県。残るアが福島県である。
 ③ 岩手県は太平洋側の県で、やませの影響を受ける。やませは夏に吹く冷たく湿った北東の風で、やませによる冷気や霧による日照不足によって、夏でも気温が上がらず冷害がおこることがある。

5

- 【正解】 ① 日米修好通商条約 ② 満州国 ③ (1) イ
 (2) (例) 国民の負担が増えたのに、賠償金が得られなかったから。 ④ 東京 ⑤ ア

- 【解説】
 ① 鎖国をしていた江戸幕府は、日米和親条約で下田・函館の2港、日米修好通商条約で函館、神奈川(横浜)、長崎、新潟、兵庫(神戸)の5港を開港した。横浜は開国後、国内で最大の貿易港となった。
 ② 満州事変について述べている。関東軍は1932年、清の最後の皇帝・溥儀を元首とする満州国の建国を宣言した。
 ③ (1) アは初代内閣総理大臣、ウは領事裁判権の撤廃に成功した外務大臣、エは自由民権運動を進めた人物。
 (2) ポーツマス条約は日露戦争の講和条約。日露戦争は日清戦争に比べ、国民の税負担が大きく、死者・戦費も増大していた。日清戦争の下関条約では2億両の賠償金を得たが、日露戦争では賠償金を得られず、国民の不満が高まった。
 ⑤ 高度経済成長は1950年代半ばから、石油危機のおこった1973年まで続いた。アは1972年、イは1951年、ウは1946年、エは1978年のできごと。